令和４年度予算の概要

一般会計予算を４日間集中審査

地方公会計制度に基づき、事業の内容や財源を盛り込んだ実施計画書等により、令和４年度一般会計予算を審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算２６１億８千万円を、予算審査特別委員会で４日間にわたり慎重に審査しました。

審査中に予算の組み替え動議が委員より提出されましたが、賛成少数により否決されました。

また、特別会計予算１２９億１６８０万円が提出され、市民厚生委員会で審査しました。

地方公営企業法の財務適用による企業会計方式の下水道事業会計予算は、建設環境委員会で審査しました。

通算６日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

令和４年度予算の特徴点について

問　予算の特徴を伺う。

答　前年度比13億７千万円、５・５％増の２６１億８千万円で過去最大。コロナ禍で市税等減収が続くと見込まれ、新規・改善事業の精査や既存事業の見直し、経常経費削減に取り組む一方、ワクチン接種事業の推進や認定こども園建設費補助金、中央図書館改良事業などの大規模建設事業等の財政需要を盛り込んだ。臨時財政対策債を３億円借り入れるが、財政調整基金の繰入れはゼロとした。

研修等管理システムの導入について

問　システムの効果等を伺う。

答　導入により、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった職員研修等が実施できるようになる。また会場等の事前準備が必要なくなることで業務の負担が軽減し、いつでも視聴できるため受講者の負担軽減も図れる。また、年度ごとに分けて実施していた研修を全職員や対象者全員に受講させることができ、既存研修業務の強化ができると考える。

住宅・土地統計調査について

問　これらの調査の結果がどのように市の施策に生かされるのかを伺う。

答　具体的な活用例として、福生市総合計画第５期の定住化対策に係る住宅環境の分析において１住宅当たりの延べ面積等を、また福生市空家等対策計画では、空き家等の現状分析において住宅総数と居住状況、空き家率の他市比較を参照するなど、総務省が公表している統計結果が各計画における現状把握や目標の設定、推進等の基礎資料として活用されている。

地図情報管理システム改良委託について

問　固定資産税の課税事務に用いる地図情報管理システムの詳細を伺う。

答　課税事務上、必要な現況図など様々なデータをシステムに載せ、統合的に管理することで固定資産税事務をより効率的に行う。導入の最大のメリットは土地の画地計測で、年間約５００件の作業があり、１件につき30分から60分かかるものが５分から10分程度でできるようになるため、作業時間の大幅な縮減が図れる。

外来生物防除委託について

問　クビアカツヤカミキリの防除予算１５５万円の詳細を伺う。

答　国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所との覚書により防除を実施していたが、令和４年度からは薬剤等の費用を新たに市で予算化し、薬剤散布やネット巻きなどを拡充させ、市単体でも防除が行えるよう取り組む。覚書は終了するが、引き続き技術的助言をいただきながら、被害状況に応じ同規模の防除を令和６年度末まで継続し、完遂を目指す。

高齢者見守り相談事業委託について

問　委託内容や委託先、対象者など詳細を伺う。

答　社会福祉法人または医療法人に委託する。市内に高齢者見守り相談窓口を１か所設置し、見守り相談員を２名配置するもので、10月開始予定。相談員は介護福祉士等の経験者を想定、独居高齢者や高齢者のみで構成する世帯及び日中独居の高齢者を中心に訪問し、安否確認及び見守りを行う。訪問対象は約５千世帯で、まずは80歳以上の世帯と心配情報があった世帯を優先的に訪問する。

子宮頸がん予防ワクチン接種について

問　平成25年６月から積極的勧奨を中止していた接種について、令和４年４月から他の定期接種と同様に個別勧奨するとのことだが、取り組みを伺う。

答　標準的な接種期間に当たる中学１年生相当の女子及び保護者に加え、これまで個別勧奨を受けていない定期接種の対象者で、令和４年度末に接種期限を超える高校１年生相当の女子及び保護者宛てに接種を検討、判断できるよう、ワクチンの有効性、安全性について丁寧に情報提供をする。

福生第一小学校学童クラブの設置について

問　同校で学童の設置に至った経緯を伺う。

答　同校は学童クラブがなく、武蔵野台児童館に併設する武蔵野台クラブに通所しているが、通所に時間がかかるほか、交通安全上の問題もあり、以前より保護者などから強く要望があった。他方、子ども育成課では学童クラブとふっさっ子の広場の一体型事業を推進しており、この流れの中で教育委員会や学校の協力により、新校舎の２階に学童クラブの設置を決定した。

東福生駅自由通路整備事業について

問　基本設計委託料として４１８３万３千円を計上しているが、ＪＲの負担分はあるのか。また、基本設計検証業務とは何を検証するのか。

答　基本設計委託料は、総額４８５０万円のうち市の負担分を計上しており、ＪＲは差額の６６６万７千円を負担する予定。検証業務は、ＪＲが実施する基本設計業務について調査設計の内容確認、基本設計の内容検証、費用負担の妥当性の検証等を行うもの。

中央図書館改良事業について

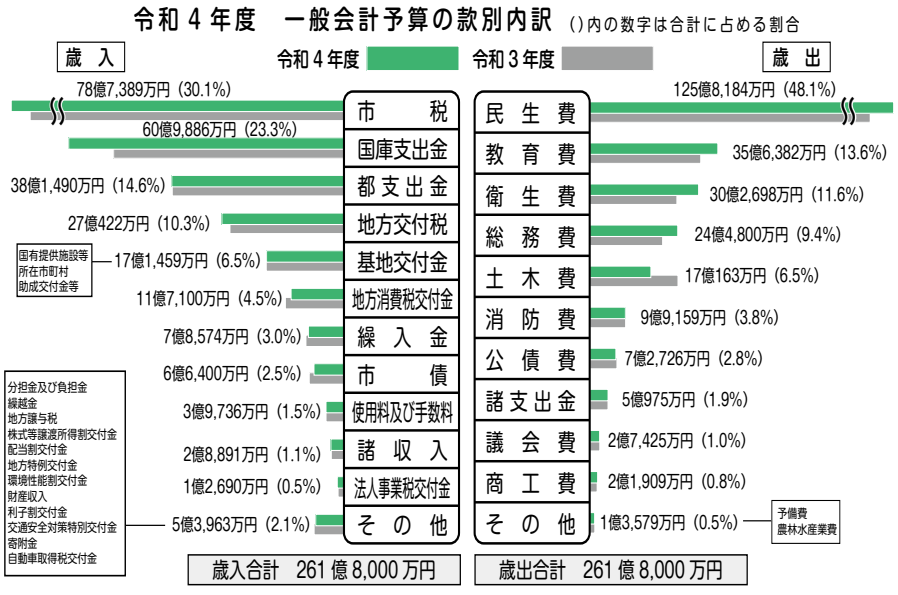
問　事業の詳細を伺う。

答　文化の森の象徴である外観はそのままに、エレベーターの新設、車いすを利用される方などのためのトイレの改修、スロープの設置などのバリアフリー化、個別空調化や照明機器のＬＥＤ化等の省エネルギー化、躯体の長寿命化及び個別空調化で不要になった機械室を書庫へ転用する。また授乳室を新設し、Ｗｉ－Ｆｉ環境を整備する。カフェ等はスペースの問題で設けないが、自動販売機や机、椅子を配置する。

▲令和４年度一般会計予算を起立多数で可決

令和４年度　各会計別予算規模（人口 R4.1.1現在 56,274人）

会計区分		令和４年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計		261億8000万円	5.5	46万5224円
特別会計	国民健康保険特別会計	66億2647万円	1.0	11万7754円
	介護保険特別会計	48億9760万2千円	3.5	8万7031円
	後期高齢者医療特別会計	13億9273万5千円	6.4	2万4749円
総合計		390億9680万7千円	4.5	69万4758円

下水道事業会計

	収入	支出
収益的収支	16億4830万8千円	14億2296万6千円
資本的収支	7億8406万5千円	13億4637万9千円